

< 豊明市特別職報酬審議会（第2回）議事録 >

1 日 時

平成 17 年 1 月 25 日（火）

午前 9 時 00 分から午前 9 時 50 分まで

2 場 所

豊明市役所 東館 3 階 会議室 10

3 出席者

委 員：9 名（相羽、伊藤、加藤、木村、都築、遠山、外山、内藤、
長谷川）

事務局：企画部長、人事秘書課長、人事秘書課長補佐（人事担当）、
人事・給与担当係長、矢野主事

4 欠席者

委 員：1 名（安井）

5 会長あいさつ

ただいまの出席委員は 9 名で、定足数に達していますので本審議
会を再開します。

6 審 議

（会 長） 追加資料について、事務局の説明を求めます。

（事務局） 資料 5 及び 6 に基づき説明をなす。

（会 長） 各委員、何かご質問はありますか？

各委員から特に質問なし

（会 長） 質問はないようですので、本審議会としての意見を取り
まとめたい。各委員の結論をお聞かせください。

（委 員） 財政状況は決して良くはないが、公債費比率は他市と比
べてもまあまあの数値。据え置きでよい。しかし、調整手当を 5%程
度加算したらどうかと思う。

（委 員） ここ数年で財政調整基金が半分以下。17 年度以降でゼロ
に近くなる。特別会計の市債が多いが、15 年度末の額では減少して
いる。昨年度も据え置きの意見があったので、今回は据え置き。調

整手当の加算については他市も無くしていく流れなので反対。

(委員) 据え置きでよい。

(委員) 今回は様子見として、据え置きで。

(委員) 据え置きで。高齢者比率は人口別 10 市中 5 番目で、少しましかなと思った。

(委員) 据え置きでよい。

(委員) 据え置きで。厳しい財政状況ではありますが…。

(委員) 心情的には少しでも引き上げたい。昨年度も市長の給料月額が 100 万円を下回るのには抵抗があった。景気動向、他市状況を考慮して今回は据え置き。しかし、できれば早く 100 万円台に戻したい。

(会長) では、本審議会として据え置きと決定してよろしいか。

全出席委員異議なし

(会長) 異議なしと認め、本審議会として据え置きの結論で決めます。答申書(案)ができるまで休憩とします。

(休憩 9:20~9:25)

(会長) 答申書(案)ができましたので事務局に朗読させます。

(事務局) 答申書(案)を朗読。

(会長) 何かご異議ありませんか。

(委員) 下から 6 行目「…健全な財政運営に努めております。」の表現を変えたほうがいいのではないか。

(委員) このままでも意味として間違いではない。

(委員) 私もそう思う。

(会長) では、原案のままの記述でよろしいか。

全出席委員異議なし

(会長) その他にご異議なければ、原案により市長に答申したいがよろしいか。

全出席委員異議なし

(会長) 異議なしと認め、これで答申と決めます。それでは、答申書の準備ができるまで休憩とします。

(休憩 9:33~9:38)

(会長) これより市長の入室を求めます。

市長入室(9:40)

7 答申書手交

会長より市長へ答申書を朗読のうえ手交。

8 市長あいさつ

慎重審議のうえの答申ありがとうございました。この答申に沿った形での健全な行政運営を今後も目指したいと思います。

9 会長あいさつ

皆様のご協力で、慎重審議の結果を市長に答申することができました。これをもちまして、豊明市特別職報酬審議会を閉会します。

午前 9 時 50 分閉会